

雑 報

○編集幹事会

日時 平成7年5月8日(月)午後4時より

場所 弥生記念講堂地下 B会議室

議題 東京女子医科大学雑誌65巻7・8号査読結果
審議, 臨時増刊号について, 総説・解説の定
義について, 学位論文の推薦書について, そ
の他

○集會幹事会

日時 平成7年4月25日(火)午後4時より

場所 中央校舎1階会議室

議題 第302, 303, 304回例会, 第61回総会について,
その他

日時 平成7年5月23日(火)午後4時より

場所 中央校舎1階会議室

議題 第303, 304回例会, 第61回総会, 評議員会に
ついて, その他

訂 正

東京女子医科大学雑誌 第65巻 第3号の原著【ヒ
トSMP30 (senescence marker protein-30) の組換え
蛋白とその発現】の誤字訂正

183頁 (英文) 6行目, 12行目

185頁 左側 4行目, 7行目, 8行目, 37行目

187頁 左側 3~4行目

図4, 5 表題

188頁 左側 5~6行目, 9行目

189頁 右側 8行目, 27行目

190頁 左側 12行目, 26行目, 35~36行目, 40行目

191頁 左側 3行目

上記の箇所の記載の Western hybridization は
Western blot の間違いでしたので, この紙面で訂正さ
せていただきました。

第四内科学教室 成澤公恵

編集後記

65巻7・8号の編集会議は5月8日に行われ, 原著
4編, 報告2編であった。現在は原著論文に関しては
二人の編集委員が査読することになっており, それぞ
れの視点から適切なコメントが寄せられている。さら
に編集会議では, より充実した論文にという委員の熱
意のこもった討論がなされた。

今回の編集会議で話題になったのは, 外国の英文雑
誌へ投稿した論文の完全なる和訳が当学会誌に掲載さ
れ, 博士論文となった件である。恐らく, 自分の研究
であることから, 著者は何の問題も感じられていない
のではないかと思われる。またこのようなことは今迄
もかなりあり, 特に学会発表では多く, わが国では黙
認されてきたようである。しかしながら発表論文の版
権は出版社に属することでもあり(特に米国では厳し
い), 今回, 全く同内容の英文と和文の二重投稿は不可
とすべきであるというのが出席者の一致した意見で
あった。専門分野以外の論文を査読しているというこ
の学会編集の特殊性から, 我々編集委員が気付くこと
はなかなか難しく, 投稿者の自覚にまつ以外はないと
思われる。

世界中で一番安全であると確信していたこの日本
で, 今年になって, とんでもない事件, 天災と人災が
次々に起きている。天災は自然の力に対する人間の無
力さをあらためて感じさせられ, 運とする一種のあき
らめのような気持になった。しかしながら宗教団体,
それも医師や高学歴の人々も関与していると推測され
ている, 常識では考えられない犯罪を現実化した人災
事件には震撼とした。ごく身近にかけられているわな
に嵌まり, マインドコントロールされた時の人間の恐
ろしさと不可思議さを感じさせられた。ただただ亡く
なられた人々の御冥福を祈り, このような事件が繰り
返されないように望むばかりである。

(1995. 5. 31, M.K.)